

平成 30 年度 第 2 回大阪府立貝塚南高等学校 学校運営協議会議事録

日 時：平成 30 年 11 月 30 日（金）15：30～16：30

場 所：大阪府立貝塚南高等学校 会議室

出席委員： 吉川 測雄 氏、 岸田 米夫 氏

（順不動）： 加田 博之 氏、 榊原 廣美 氏

南 芳治 氏、 藤野 信治 氏

【1】校長挨拶

【2】会長挨拶

授業を見学したが、プロジェクターを用いての授業や少人数での授業など新しい取組がなされていた。また、中庭の整備によって生徒も和やかに過ごしているのではないだろうか。本日の、委員からの意見が学校経営に反映されれば幸いである。

【3】報告

「平成 30 年度学校経営計画及び学校評価」の進捗報告

1. 確かな学力の育成
2. 夢と希望を持つ生徒育成
3. 安全安心で魅力のある学校づくり
4. 地域と連携した学校づくり
5. 教職員の資質向上と意識改革

【4】協議事項

「学校経営計画及び学校評価」についての協議

- ・修学旅行の予算が厳しい中、教員による下見をどうするか。  
→来年修学旅行に行く 1 年生の担当教員(2名)が今回の修学旅行に付き添い、下見も兼ねて業務を行った。来年度も同じように下見を兼ねる予定。
- ・修学旅行先の食事や、衛生面に課題があるか。  
→生徒たちには事前に海外の食事について話さなかったのでアンケート結果は少し悪いのだと思われる。日本に比べると衛生状態は悪いが、それほど悪いわけではない。
- ・大学合格者数が減少してきているのは、全体として合格者数が減少しているからか。  
→大学側が定員を超えて合格を出せば補助金もらえないという事情があり、確実に合格者数が減少している。しかし、入試問題で 7 割程度の点数を取れば合格できるため、相応の学力身につけることにより合格は可能である。

学校の授業はもちろんのこと、基礎に加えて家庭学習が必要である。定期  
考査という短い期間ではなく、長期的な計画で学習を進められるような指  
導が必要。また、大学の指定校推薦が駄目なら専門学校を受験するという  
生徒も多く、一般受験まで頑張らせたい。

・高校生意識調査アンケートで、2・3年になるにつれて生徒達は教員や学校に対  
して好意を持つようになってきている。本日の授業見学でも積極的に発言している様  
子が伺えた。今後、班活動や教え合い活動などを増やしていくとさらに良くなる  
はず。合唱コンクールも、取組を続けていけば、生徒の意識も変わり、どんどん  
自主的に行動するようになるので、今後も開催してほしい。

・高校生意識調査アンケートで、図書室を一度も利用したことがない生徒が非常  
に多く、読書経験が少ない様子が伺える。この点について学校を挙げて取り組む  
と良いのでは。

・本日の授業見学で、プロジェクターで映像や写真を見せるだけではない ICT 機  
器の利用方法に驚いた。今後も助け合いの精神を育てるためにボランティアなど  
に取り組んでほしい。

<まとめ>

勉強時間が減って、推薦入試の合格者数が減っている。また来年度2学級減少  
する中、これまで以上に指導を充実させて、そして広報活動にさらに力を入れて  
ほしい。本日の授業を見学していると、授業が非常に充実していた。今後も引き  
続き取り組んでほしい。

→今回初めて高校生意識調査アンケートを実施し、生徒の様子がさらに分かって  
きた。今後は学校が好きな生徒を増やしていきたい。

## 【5】事務連絡

第3回の予定を確認

## 【6】校長挨拶